

仕 様

形 名		EA-JC665BSP-FG	EA-JC865BSP-FG			
用 途 / 庫内温度		アイスクリーム・冷凍食品用 / -22℃ ~ -18℃				
電 源 コード		4m VCTFK2×2.0m ² , 4m VCT 4×3.5m ²				
外形寸法(高さ×巾×奥行)		1960×1910×970mm		1960×2520×970mm		
キャビネット	外 装	表面処理鋼板焼付塗装及びステンレスロール品				
	内 装	表面処理鋼板焼付塗装				
	冷 却 室	亜鉛メッキ鋼板				
	断 熱 材	ウレタン注入発泡				
	扉	アルミ押出枠・防露ヒータ付三層ガラス扉(リーチイン)				
		扉3枚		扉4枚		
	照 明 灯	トッ プ	LED照明 昼白色 10W×2		LED照明 昼白色 13W×2	
リーチイン		LED照明 昼白色 6W×4		LED照明 昼白色 6W×5		
平 形		LED照明 昼白色 10W×2		LED照明 昼白色 13W×2		
電 気 容 量 50/60Hz	単相 200V	照明	64 W	0.39 A	82 W	0.51 A
		防露ヒータ	716 W	3.58 A	970 W	4.85 A
		庫内送風機	100/120 W	0.54/0.64 A	100/120 W	0.54/0.64 A
		運転時合計	880 / 900 W	4.51 / 4.61 A	1152 / 1172 W	5.90/6.00 A
	三相 200V	除霜時合計	880 / 900 W	4.51 / 4.61 A	1152 / 1172 W	5.90/6.00 A
		凝縮器用送風機	100/120 W	0.54/0.64 A	100/120 W	0.54/0.64 A
		圧縮機	1678/1884 W	6.96/6.26 A	2684/3135 W	11.16/10.86 A
		除霜ヒータ	4040 W	12.2 A	5300 W	15.8 A
		運転時合計	1778/2004 W	7.5/6.9 A	2784/3255 W	11.7/11.5 A
		除霜時合計	4040 W	12.2 A	5300 W	15.8 A
冷 凍 装 置	圧縮機	リーチイン	全密閉形ロータリ式 1100W		全密閉形ロータリ式 1500W	
		平 形	全密閉形ロータリ式 1100W		全密閉形ロータリ式 1500W	
	冷 却 器		クロスフィン(強制通風式)			
	凝 縮 器		クロスフィン(強制通風式)			
	冷 媒 制 御		温度式自動膨張弁(内均式)			
	冷 媒	種 類	R404A			
充 填 量		リーチイン	940 g		1,455 g	
	平 形	875 g		1,365 g		
除 霜 方 式		ヒータ方式				
庫 内 温 度 制 御		マイコン制御				
展 示 面 積	リーチイン	1.37 m ²		1.83 m ²		
	平 形	0.97 m ²		1.29 m ²		
有 効 内 容 積	リーチイン	316 L		421 L		
	平 形	209 L		278 L		
製 品 質 量		465 kg		575 kg		
標 準 装 備		標準側板, デジタル温度計, ナイトカバー, 商品カバー ドレン排水ホース(有効長1.5m)、ドレンタンク(3.8L)				
オ プ シ ョ ン		庫内仕切板、連結部品				

ご注意事項

1. 周囲条件: 温度27℃、湿度60% 風速0.2m/s以下。
2. 仕様向上の為、予告なく仕様変更することがありますのでご了承ください。

2022-02-14

K.J

T.Y

M.O

仕
図
番

R385698

発
行
日

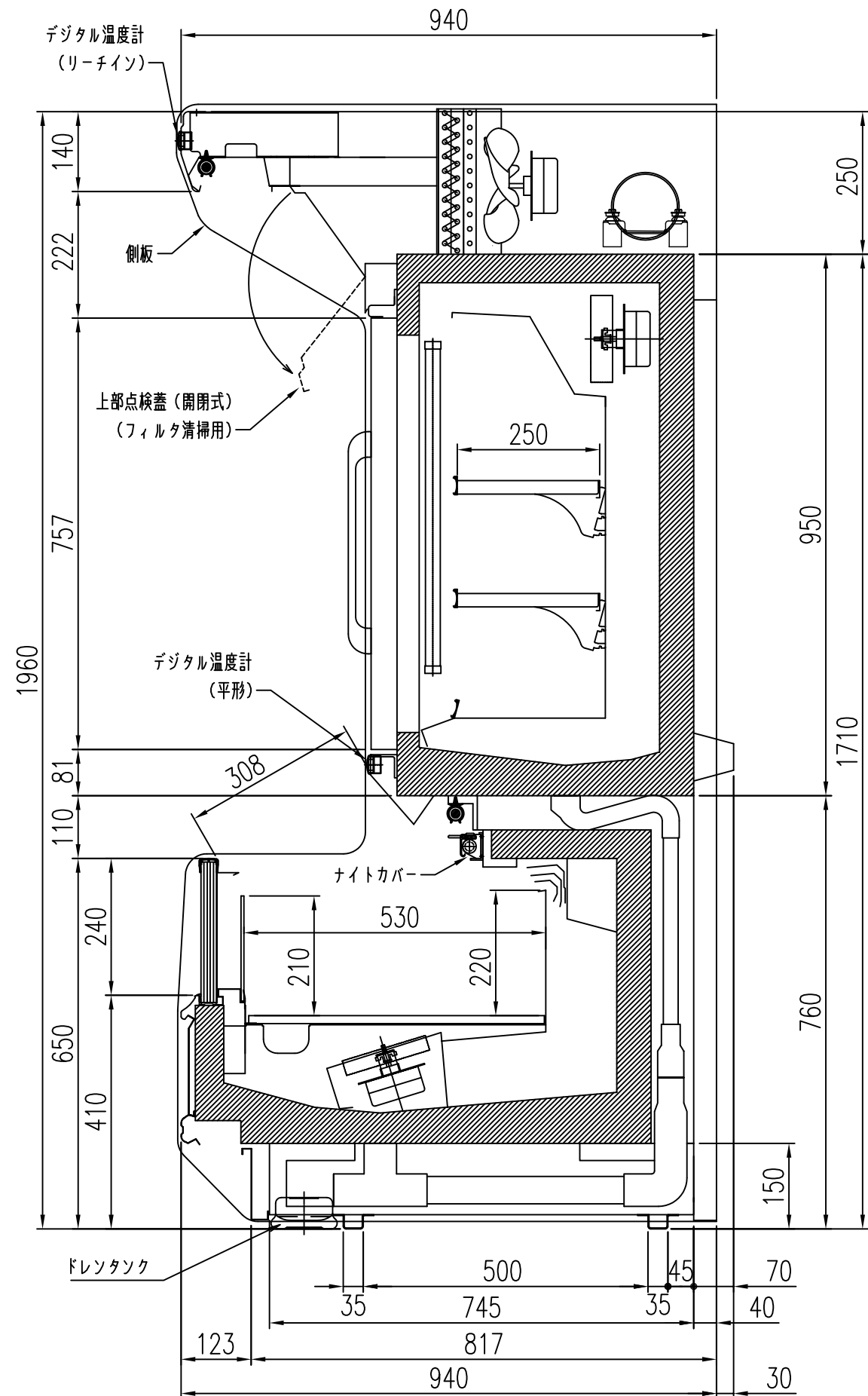
2018.06.01

図
番

R485698

副
番

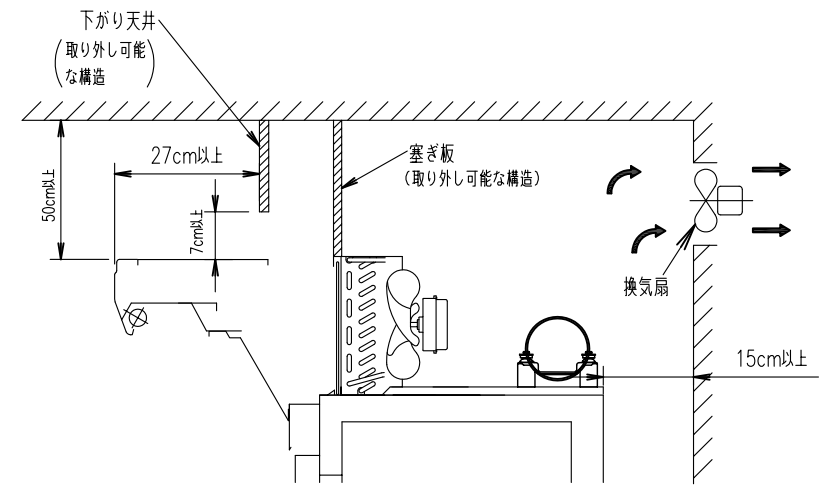
C



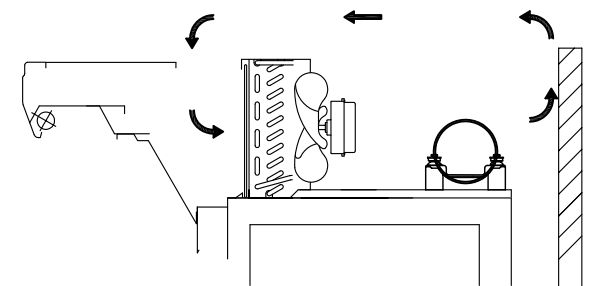
(S=1/10)

排熱及び下がり天井の設置等について

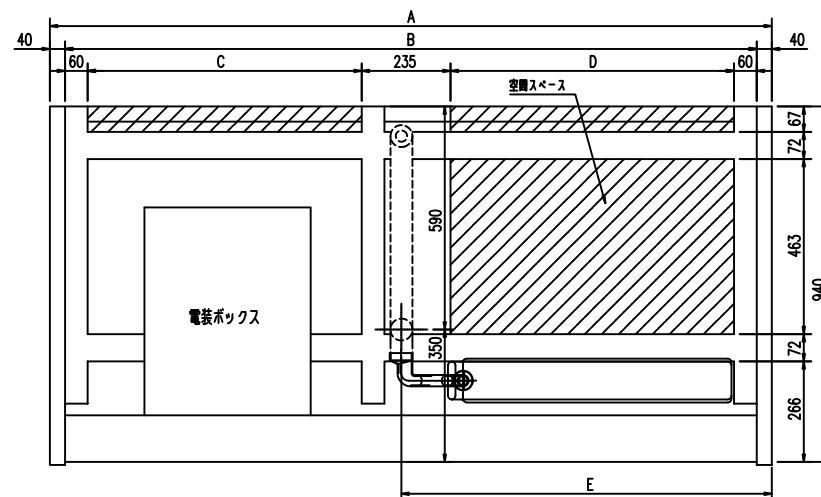
1. 排熱を良くするため、ショーケースの上部は50cm以上、背面は15cm以上、両側面は10cm以上すきまをあけて設置してください。
2. 上部及び背面のすきまが取れない場合は、排熱不良や排熱のショートサイクル防止のため、右図のように塞ぎ板を設け換気扇等で排熱処理をしてください。
3. 下がり天井を設ける場合は、電装品サービス及び吸気のため、右図の位置に設置するとともに排熱のショートサイクル防止のため塞ぎ板も右図の位置に設置し、換気扇等で排熱処理をしてください。
なお、下がり天井及び塞ぎ板は、冷凍装置の保守、点検のため、取り外し可能な構造にしてください。
4. 下がり天井などが無い場合でも右図のように背面側に排熱を妨げる壁等がある場合には凝縮器に排熱が吸い込まれ、ユニットが高温になる恐れがありますので、塞ぎ板を設け換気扇等で排熱処理をしてください。



排熱が悪いと、冷えが悪くなる、保護装置が作動し運転しないなどの故障の原因となります。

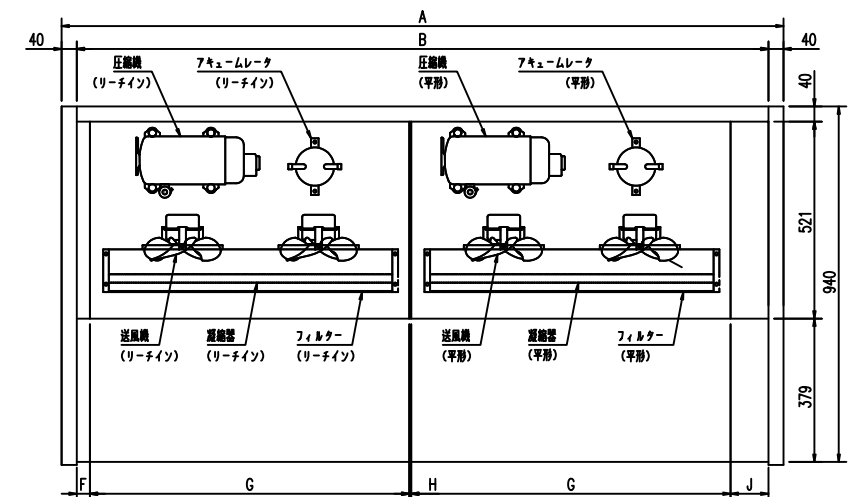


台枠部分空間スペース表示図 (S=1/20)



	A	B	C	D	E	F	G	H	J
EA-JC665BSP-FG	1910	1830	725	750	980	35	845	5	100
EA-JC865BSP-FG	2520	2440	950	1135	1365	135	1105	15	80

冷凍ユニット配置図 (S=1/20)



K.J
T.Y
M.O